

わが内 わがグループ

「和」によって
強い団結力の
マンモス町内
～相染町～



熱心な討論でまちづくりの会員たち

「わが内、わがグループ」今回は市内でも五指に入るマンモス町内「相染町」を訪ねてみました。

同地区は、昭和26年に建てられた市営住宅を中心とし、官公庁・学校に近いなど、その地理的な利点も手伝って住宅地として発展。現在世帯数299、人口は834人となっています。

マンモス町内ということ

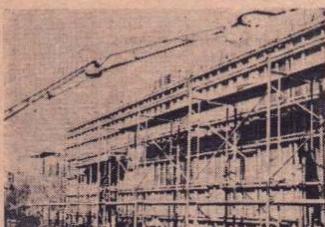
もあり、これまで町内のひとと同志の結びつきにやや弱い一面がありました。そこで、自分たちのまちは自分たちで作ろうとの呼びかけに、自称「青年部」であれば老若男女だれでも入会できる「相染町青年部」が昨年の5月に発足しました。

「……もっとも発足の一一番のきっかけは、祭りの山車を造るための人集め、車にお祭り騒ぎの好きな連中の集まりですから」と笑う部長の鷲谷さん。しかしながらこの冬には、町内のお年寄りだけの家の雪おろしなど奉仕活動も盛んで、人と人のつながりの大しさを自分たちが率先してみせることで子供たちの良き見本になれば、という願いもこめられています。また、少年消防クラブの指導にも力を入れており、先頃そ地道な活動が認められ優良少年消防

クラブとしてみごと全国表彰を受けました。

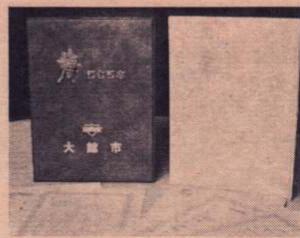
また「祭り好き」を自認するように、花見会に盆踊り、夏祭りはもちろんのこと、子供たちを中心とする運動会やスキーの集いなど年間行事もびっしり。各人それぞれの職種を生かした仕事分担で面白い行事をどんどん企画、実行しています。

町内会の中に青年部が結成されながら、ほとんどの会員が学齢の子をもつ親ということもあり、親同志のみならず、子供たちとのつきあいも深まりました。会がまだ始めた問題点もいくつかあります。例会といわば月1回の例会といわず、随時招集があれば平均して20人から30人が集まり、討論を重ねながら相染町は青年部を中心に、新たな企画を練っています……。



建設中の「前処理施設」

同地区には、町内のお年寄りだけの家の雪おろしなど奉仕活動も盛んで、人と人のつながりの大しさを自分たちが率先してみせることで子供たちの良き見本になれば、という願いもこめられています。また、少年消防クラブの指導にも力を入れており、先頃そ地道な活動が認められ優良少年消防



紅白のケース入り「受理証」

市では四月一日から、結婚したカップルに「寿ノリ」と書かれた白いケース入りの「婚姻届受理証」と、赤ちゃん誕生のご両親には同じく赤いケース入りの「出生届受理証」をそれぞれお祝いとして交付しており、このユニークなプレゼントは、市民課の窓口に届け出に来た方々から

大変喜ばれています。この紅白のケースの中には、受取証のほかに「円満な家庭を築き、幸運が常にあなたたちと一緒に赤いケース入りの「

来への限りない可能性が、大きさーく花ひらくことを……」と、それぞれに市長の「お祝いのこと

ともにあらんことを……」

未だにあります。

市長から「おめでとう」と

直接受取証を手渡されました。

二人は「プレゼントのことは知らなかつた」とビックリした



第1号の受取証を畠山市長から手渡され、大喜びの三浦良明さんと留理子さん

出嫁

届け出に受取証を交付 お祝いカードもプレゼント

未然防止に皆さんのご協力をお願いします。

ばカードが添えられ、さらにメモカードも入っています。

このお祝いカードのカット第一号は、山館の菅原潤一さん

た、商人の三浦良明さん(二

市長から「おめでとう」と

直接受取証を手渡されました。

二人は「プレゼントのことは知らなかつた」とビックリした

章子さんの長男尚樹ちゃんです

メモカードも入っています。

このお祝いカードのカット第一号は、山館の菅原潤一さん

た、商人の三浦良明さん(二

市長から「お